

教科	科目	単位数	学年	集団
地歴	歴史総合	2	2	スポーツ探究科

使用教科書	副教材等
明解歴史総合（帝国書院）	明解歴史総合ノート（帝国書院）

科目の目標
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身につける。
③主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて理解しようとしている。

評価方法	
知識・技能	定期考査、小テストなど
思考・判断・表現	定期考査、ポートフォリオ、ワークシート、パフォーマンスなど
主体的に学習に取り組む態度	定期考査、ポートフォリオ、パフォーマンス（授業態度含）など

学習計画

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	歴史の扉	歴史と私たち	諸資料を活用し、日本や世界の歴史のつながりについて主体的に課題を解決しようとする。	○	○	
	歴史の特質と資料	歴史の特質と資料	日本や世界の様々な資料を用いて、主体的に理解し、表現できる	○		
	近代化への問い	近代化への問い	近代化に関する複数の資料をを活用して、主体的に問いを表現できる	○	○	○
5	結びつく世界と日本の開国	江戸時代の日本と結びつく世界	18世紀の日本やアジア、ヨーロッパの結びつきについて理解し、多面的・多角的に考察できる	○	○	○
	国民国家と明治維新	欧米諸国における近代化	18世紀後半以降の市民革命や国民統合の動向について理解し、列強の進出と植民地の形成などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解できる。また、他国間の動向を比較したり、関連づけることで、その変容を多面的・多角的に考察し、表現できる。	○	○	○
6		近代化の進展と国民国家形成				
		アジア諸国の動揺と日本の開国				
7		近代化が進む日本と東アジア				
	近代化と現代的な諸課題		これまでの学習を基に、近代化について主体的に視点を設定し、課題について追究できる。	○	○	○
	国際秩序の変化や大衆化への問い	国際秩序の変化や大衆化への問い	20世紀前半の国際関係の緊密化や社会環境の変化に関する複数の資料をを活用して、主体的に問いを表現できる	○	○	○

9	第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦と日本の対応	日本を含む世界の人々にとって第一次世界大戦がどのような戦争だったのかを考察し、表現できる	○	○	○
	経済危機と第二次世界大戦	国際協調と大衆社会の広がり	世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのかを諸資料を用いて理解し、表現することができる。	○	○	○
10	国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	日本の行方と第二次世界大戦	これまでの学習を基に、国際秩序の変化や大衆化の歴史について主体的に視点を設定し、課題について追究できる。	○	○	○
		再出発する世界と日本				
11	グローバル化への問い	グローバル化への問い	グローバル化に関する複数の資料を活用して、主体的に問いを表現できる	○	○	○
12	冷戦と世界経済	冷戦で揺れる世界と日本	冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々の変容について課題を追究できる	○	○	○
1	世界秩序の変容と日本	多極化する世界	20世紀後半の経済成長や社会構造の変化についてその過程と課題について主体的に考察できる	○	○	○
		グローバル化のなかの世界と日本				
2・3	現代的な諸課題の形成と展望		これまでの学習を基に、持続可能な社会の実現を視野にいれ、主体的に課題を設定して追究できる。	○	○	○